

令和8年1月19日

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課長



未・低利用資源の“成分”から新たな活用の可能性を探る 第9回バイオサロン～住友化学(株)～を開催

産学金官69の企業・機関が参画する「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」(会長・長岡市長)は昨年9月から、住友化学が提供する日本初のデジタルプラットフォーム「Biondo®^{※1}」を活用して市内の未・低利用資源の高付加価値化に取り組む事業を開始しました。

このたび、同社の研究者を講師に招き、第9回バイオサロン^{※2}を開催します。資源の成分情報から見えてくる新たな活用の可能性やバイオ産業への展開を探ります。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

長岡バイオエコノミーコンソーシアム 第9回バイオサロン

- 1 日時 1月22日(木)午後3時～5時
- 2 会場 米百俵プレイス ミライエ長岡5階 イノベーションサロン
(長岡市大手通2-3-10)
- 3 テーマ 成分分析プラットフォーム「Biondo®」とバイオ炭による資源の新たな可能性
- 4 講師 住友化学株式会社の研究者4人
- 5 内容 ①「Biondo®」事業の説明
②酒粕の分析結果から、おいしさ与健康機能の報告、新たな価値創出への提案、利用企業の吉乃川株式会社からのコメント
③農業残渣や食品廃棄物などのバイオマスを触媒を使って炭化する「バイオ炭(触媒炭化)」の説明
④意見交換会
- 6 参加者 コンソーシアムの会員など約30人

※1「Biondo®」

天然素材や未・低利用資源について、成分分析や詳細なデータベース、レポート提供を通じて新たな価値創出と取引先開拓を支援する、住友化学(株)が提供する日本初のデジタル・プラットフォーム。登録数は、天然素材1,400以上、未・低利用資源210以上で、国内最大級。成分分析、素材検索データベース、取引先開拓の3つの機能を有する天然素材のマッチングサービスとしては日本初。

※2 バイオサロン

長岡バイオエコノミーコンソーシアムの事業の一つで、多様な業種・業態からの異なる視点での議論を深め、地域課題解決に向けたオープンイノベーションを促進するイベント

問い合わせ：産業イノベーション課 門脇
TEL：0258-39-2402

第9回

バイオサロン

住友化学(株)

～成分分析プラットフォーム「Biondo®」
とバイオ炭による資源の新たな可能性～

1.22(木)
15:00-17:00

長岡バイオエコノミーコンソーシアムは令和7年9月から、会員となった住友化学(株)と連携し、成分分析プラットフォーム「Biondo®」(詳細は裏面)を活用した未・低利用資源の高付加価値化とマッチングの促進プロジェクトを始めました。

第9回バイオサロンでは、同社の技術者がBiondo®の分析手法やマッチングの詳細を解説し、資源の新たな可能性を探ります。

さらに、同社が展開するバイオマス廃棄物を多様な資源に変換する技術「バイオ炭(触媒炭化)」も紹介します。

会場

ミライエ長岡 5階
イノベーションサロン

内容

15:00-16:00

事業説明、利用企業発表
Biondo®/バイオ炭事業

16:00-17:00

意見交換会(飲食・アルコール有)

対象

未利用資源や天然由来資源を活用したい、高付加価値化
したい企業、バイオ産業に興味のある企業

<未利用資源(例)>

- ・食品製造の残渣や搾りかす
- ・野菜で廃棄している枝葉や皮
- ・取引されているが低価格な素材

参加費

500円(交流会費)

お申し込みは
こちらから



URL

<https://logoform.jp/f/cy3hR>

締切 1.15(木)

主催 長岡バイオエコノミーコンソーシアム
共催 JETRO
お問合せ sangyou-seisaku@city.nagaoka.lg.jp



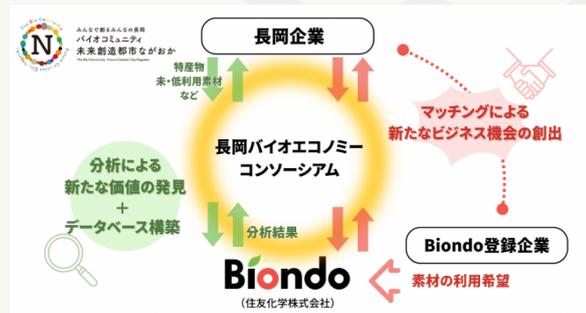
みんなで創るみんなの長岡
バイオコミュニティ
未来創造都市ながおか
The Bio Community Future Creation City Nagaoka



住友化学

資源活用プラットフォーム「Biondo®」

住友化学の「Biondo®」は、1,100超の天然素材や140以上の未・低利用資源を網羅した国内最大級のデジタルプラットフォームです。売り手と買い手をつなぎ、成分分析や詳細なデータベース、レポート提供を通じて未利用資源の新たな価値創出と取引先開拓を支援します。



バイオ炭（触媒炭化）

バイオ炭は、農業残渣や食品廃棄物などの再生可能なバイオマスを炭化して得られる炭素材料です。土壌改良材や吸着材として利用されるほか、炭素を長期間土壌に固定することで大気中のCO₂削減にも貢献できるため、カーボンニュートラル社会の実現に向けた重要な技術の1つとして注目されています。住友化学では、触媒を活用した炭化技術の開発を進めており、従来よりも低温・高効率でバイオマスを炭化できる新たなプロセスの実現を目指しています。

登壇者



住友化学(株) Biondo営業本部長

檜木 友也

広島大学工学博士課程修了。有機化学を専門とし、住友化学で機能性材料研究に従事。「Biondo」運営担当。



住友化学(株) Biondo開発エキスパート

小森 優美

京都大学修士修了(薬科学)。質量分析を専門とし、バイオ分野の新規事業開発に携わる。「Biondo」開発担当。



住友化学(株) フェロー

関 航平

北海道大学修士修了(地球環境科学)。グリーン触媒ソリューションズテーマに従事。「バイオ炭」触媒担当。



住友化学(株) プロセス開発リーダー

寺森 正志

九州大学修士修了(化学工学)。環境負荷低減技術のプロセス開発・工業化に従事。「バイオ炭」プロセス開発担当。